

事務連絡
令和4年8月18日

うるま市保育施設等
保護者様

うるま市こども未来部
部長 金城妙子
(公印省略)

お子様の事故防止について

平素よりうるま市保育行政について、格段のご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

夏も本番となり、ご家庭におかれましても休日には海や山へのレジャーを楽しんでいることかと思えます。そのような中、県内やうるま市においても、水難事故で尊い命が奪われております。

幼児・児童・生徒が悲惨な事件・事故に巻き込まれないよう今一度、ご家庭におかれましても注意していただきますようお願い申し上げます。

記

1.水難事故防止における注意ポイント

※入浴時、大人が洗髪する際には、子どもを浴槽から出しましょう。浮き輪の使用中でも溺れる事故が発生しています。保護者が目を離す状況で使用するのはやめましょう。お風呂から上がる際には、子どもを先に浴槽・浴室から出しましょう。

子どもが浴室に入ってしまう、浴槽をのぞき込み転落し、溺れることがあります。入浴後は、浴槽の水を抜き、浴室には外鍵を付けて子どもが入れないようにしましょう。

※使用後の洗濯機、バケツ、洗面器に水を溜めたままにしないようにしましょう。

洗濯機にはチャイルドロックをかけて蓋を開けられないようにしましょう。

※子どもだけで海や川などで遊ぶことがないよう注意しましょう。

遊ぶ時はライフジャケットを着用させ、必ず大人が付き添うようにしましょう。

※ため池、用水路、排水溝、浄化槽など、転落や溺れの可能性がある危険な場所に気付いたら、管理者へ柵の設置等を要請しましょう。危険な場所で遊ばないよう日頃から話しておきましょう。

2.熱中症対策

※子どもだけを車内に残しておくことは大変危険です。車内は予想外に温度が上昇することがあります。その結果、熱中症に陥り、死に至ることもあります。子どもは短時間でも熱中症に陥ることがあります。大人の感覚とは異なるので注意が必要です。